

令和 7 年 4 月 21 日
J A ア ル プ ス
富山県富山農林振興センター

J A アルプス管内の白ねぎの定植は、7～8月どりでは3月下旬、9月どりは4月上旬から始まっています。

一方、3か月予報（4～6月）では、気温は平年より高い見込みとなっており、今後、雑草及び病害の発生が懸念されます。そこで、排水対策を行った後、雑草及び病害の発生を抑えるため、以下の対策をお願いします。

1 排水対策

- ・降雨による水（図1）が植え溝から排水溝までスムーズに流れるよう、植え溝、額縁排水溝、排水口をそれぞれつなぐ（図2、3）。



図1 植え溝に水が溜まった様子

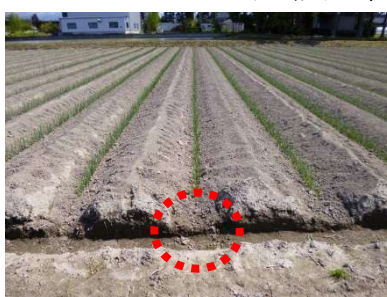


図2 植え溝を額縁排水溝へ
しっかりつなぐ。



図3 額縁排水溝の連結部を
しっかりつなぐ。

2 雑草対策 うね間に雑草の発生がみられる場合（定植 25 日後頃）

- ・雑草が小さいうちに、ねぎにかからないよう「プリグロックスL」又は「バスタ液剤」をうね間に散布する。

薬剤名	10a 当たり使用量	使用方法	使用時期
プリグロックスL	600～1,000mL (水 100L に希釈)	雑草茎葉散布	うね間処理、雑草生育期、 ただし収穫 3 日前まで
バスタ液剤	300～500mL (水 100L に希釈)	雑草茎葉散布	うね間処理、収穫前日まで

※強風日は散布せず、風の無い日に散布してください。

3 害虫（ハモグリバエ類、アザミウマ類）対策（定植 50 日後頃）

- ・削り込み前に「スタークル粒剤」を株元散布する。

薬剤名	10a 当たり使用量	使用回数	使用時期	IRAC コード
スタークル粒剤	6～9 kg	株元散布	収穫 3 日前まで	4 A

4 病害（疫病、べと病）対策（定植 50 日後頃）

- ・削り込み前に「アリエッティ水和剤」を散布する。（展着剤加用）

薬剤名	希釈倍数	使用方法	使用時期	FRAC コード
アリエッティ水和剤	800 倍	散布	収穫 3 日前まで	P 7

（裏面に続く）

○管理作業に当たっての留意点

【農薬の登録確認・飛散防止について】

農薬の散布に当たっては、濃度や対象病虫害等、農薬容器のラベルを必ず確認してください。また、周辺の他の作物や住宅に薬剤が飛散しないよう十分に注意してください。

【農作業の安全について】

農業機械での作業時等の作業安全対策を徹底し、農作業事故発生防止に十分努めてください。

【熱中症対策について】

農作業に当たっては、こまめに水分を補給する等、熱中症対策に留意してください。